



令和2年1月22日

各位

会社名 株式会社ファルコホールディングス
代表者名 代表取締役社長 安田 忠史
(コード番号：4671 東証第一部)
問合せ先 取締役管理室長 大西 規和
(TEL. 075-257-8585)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、令和元年5月10日に公表した令和2年3月期（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想の修正について

(1) 令和2年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	42,300	750	850	500	45円60銭
今回修正予想（B）	43,000	1,150	1,250	1,500	140円77銭
増減額（B－A）	700	400	400	1,000	
増減率 （％）	1.7	53.3	47.1	200.0	
(参考) 前期連結実績 (平成31年3月期)	44,156	1,338	1,632	653	59円80銭

(2) 修正の理由

令和元年12月25日付の「特別利益（受取保険金）の計上見込みに関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、平成31年2月3日に発生した火災事故に対する保険金の受取額が確定し、その他の要因も含め、このたび業績への影響額の精査に一定の目処が立ったため、令和2年3月期の連結業績予想数値の修正を公表するものであります。

売上高については、火災事故からの復旧が火災発生当初の想定より早く完了したこと及びコンパニオン診断薬「MS I 検査キット（FALCO）」の販売実績が順調に推移したことにより、前回予想を上回る見込みです。また、営業利益及び経常利益については、同検査キットの販売実績が順調に推移したこと及び調剤薬局事業における収支の改善等により、前回予想を上回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益については、上記要因に加え受取保険金、検査再構築費用等の見積額の修正により前回予想を大幅に上回る見込みです。

なお、配当予想については、前回発表予想から変更はありません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上